

2024年度 矢向あけぼの保育園だより 6月号

梅雨の時期になりましたが、このところの急な雷雨やゲリラ豪雨といった不安定な陽気が続いていますね。体調も崩しやすいので、しっかりと食事、あそび、寝るといった基本的な生活リズムを大切にしていきたいですね。



76年ぶりに見直された保育士配置基準ですが・・・

2024年度、保育士の配置基準が3歳児は15人に1人、4、5歳児は25人に1人と改正されスタートしました。矢向あけぼの保育園では、以前より幼児クラスの配置は多くしていたので問題なく進めていくことが出来ました。全国的に見ると約30%の保育施設が見通しがたっていないという調査結果が出されました。保育士確保という難しい問題があるからです。保育士確保できない施設によっては、園児の受け入れを制限したり、人材紹介会社と利用するなど様々な努力をされていますが、園の経営という点でいくと大きな負担になっていることはいなめません。この内容はNHKのニュースで流れていました。実際、ある保育園の取材に訪れた日は、保育士の休みが相次ぎ、16時以降の3～5歳児およそ50人に対して保育士2人で対応していたという状況でした。保育園はこの数年でたいへん増えたのですが、あまりにも急に増えすぎた為の保育士不足に加え、就学前人口の減少による定員割れと複合的な問題が重なり閉園を余儀なくされるところも出てきています。園は、その定員割れや空いている部屋などで“たれでも通園制度”などを導入しやすいのではと言われています。ですが、その制度は、6月～3歳未満児が月10時間の利用となると、その為に人を確保して場所も作っておくことは、現実的には難しいです。定員割れの問題解決にはならないと考えられます。子どもたちが、どこで育ったとしてもひとりひとりが大切にされる環境を整えていく為の制度です。預ける側、受け入れる側どちらも安心、安定できるような制度の充実が進んでいくことを願っています。今年度も少しでもよい保育ができるよう、市や国へ様々な団体を通して訴えていきたいと思っております。

Tシャツのご協力ありがとうございました。

今年度は染めたTシャツではなく、ぞうグループのお友達の描いた記念Tシャツになりました。保護者の方々にもおやこおそろいTシャツとしてご購入していただきありがとうございます。色も子どもたちが決めてくれました。外遊びが大好きなあけぼのふらしくお空の色のロイヤルブルーになりました。なまつり当日も、晴天になりますよう願っています。

飯田雅美

